

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書
2017年度報告書

代表者氏名	李 艶	所属	聖泉大学 人間学部
研究集会等名称	文化と心理学		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください） 会員 8名（うち認定心理士 8名） 非会員 7名（うち認定心理士 5名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください） 2017年度助成研究期間には、研究会3回、一般公開講演会1回を開催した。</p> <p>2017年度は昨年度の続きで、新たに二つの分野から切口として文化と心理学の関係を検討した。一つは社会心理学分野、特に社会的動機づけ、国民固有感情、人間関係、異文化適応の視点から、文化と心理学の関係とその次元、もう一つは言語学、宗教心理学、民俗学視点から、なぜ人間が一つの心に多様の精神性を持つのか、その深層を探った。</p> <p>2017年度一般公開講演会（「文化と心理学研究会」通算第11回講演会の報告 2018年1月24日聖泉大学で日本心理学会「文化と心理学研究会」第11回講演会が開催されました。ホスピタリティ・マネジメントの学術研究の第一人者、ホスピタリティー学会会長服部勝人先生をお招きして、「多様化社会におけるホスピタリティーweb社会のコミュニケーション」をテーマに講演をして頂きました。</p> <p>開催のお知らせは日本心理学会と聖泉大学のホームページに載っていて、広く周知されたことで、当日の参加者は総勢90数名でした。講演は、社会の構造変化、ホスピタリティとサービス概念の違い、「相互性原理」、コミュニケーションにおけるホスピタリティの概念を中心に話されました。まとめには生活や社会の至る所にコンピュータが存在し、いつでもどこでも誰でもアクセスが可能なネットワーク環境が「ユビキタ社会」と、人と人の相対関係が多様化した共創や共育を生む「ホスピタリティ社会」のバランスの重要性を強調されました。</p> <p>視聴者から以下のような感想を頂きました。講演が大好評でした。 「ホスピタリティを大事にし、助産婦として働きしていきたい。目配り、気配り、心配りをモットーに忘れず、看護ケアをしていきたい。」 「将来コーヒー屋をやりたい、もっとホスピタリティの勉強をしたい。」 「将来ほとんど機械化していくということを知って、驚きました。ほとんど機械化したらどうなるだろう。まわりの人と共創し助け合いながら生きていきたい。」 「服部さんの講演は今まで聴いていた講演の中で独特で話に引き込まれました。」 「昨年一年程度学生との地域内交流を開催していました。…今後地域の活性化と共育にお互いに共創できればうれしい。…」</p>		

「人間性について学ぶことが多く、また考えさせることもたくさんあった。人は人と関わりをもって、痛み（心の）などをしっかり身に感じ、成長していくことが大事だと改めて学んだ。」

「相互関係においても、相互の思いやりがとても大切であると改めて感じました。」

「機械化している社会の中で、人と人のコミュニケーションやホスピタリティを大切に働きしていきたい。」

「セルフ・マネージメントが大切だという話がとても印象でした。」

「普段聞くことのできないお話がたくさん聞くことができ、とても楽しかった。」

「感動がないと、リピーターがこないというのはなるほどと思いました。」

今後、今までの研究成果を纏め、次年度の研究会の企画を立てて、取り組みの準備を進む。今後の研究予定としては、介護・保険・健康にかかわる比較心理学について取り組んでいく。

2018年3月22日

日本心理学会研究会 2017 年度会計報告書

研究会名称 文化と心理学研究会

研究会番号 研 17004

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2018年1月24日	講師謝礼と交通費 (講演会) (1名)	¥40,000

合計 40,000

注：オーバーの10000円は李艶が個人負担しました。

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
(文化と心理学研究会)				
研究集会開催日： 2018 年1 月 24 日				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	李艶	聖泉大学 教授	○	
2	大日方重利	静岡産業大学 経営学部 教授	○	
3	藤重 育子	愛知東邦大学 助教	○	
4	村田 州央	大阪市公立中学校教育支援相談員		
5	林祥偉	立命館大学大学院博士課程後期課程		
6	愛沢南	聖泉大学 学生 (以下同様)		
7	明川岳耶			
8	浅野聖也			
9	池田真侑			
10	犬飼大貴			
11	猪田早規			
12	大賀伶那			
13	太田優作			
14	大平実咲			
15	尾田朋香			
16	上村瞭雅			
17	亀崎信一			
18	木村晴奈			
19	久保田海斗			
20	津田愛華			
21	古場千晴			
22	末廣結人			
23	鈴木彩香			
24	立野孝一			
25	丹内勇輝			